宮城県農地・水・環境保全向上対策通信　　平成21年10月13日発行

ぐるみ

環境にやさしく効果の高い活動を支援

…綺麗な水辺には、小さな魚も、子供達も元気に遊びます。…

Contents

○東北農政局と活動組織の意見交換会
○第１回生き物調査研修会、第２回生き物調査研修会
○簡易補修技術研修会（栗原管内）
○県民交流ツアー
○通常総会
○活動事例紹介「菜の花プロジェクト」（角田市）
○行事開催予定（平成２１年度今後の予定）

宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会

意見交換会

東北農政局と活動組織の意見交換会開催

日　時　：　平成 21 年 7 月 14 日（火曜日）
場　所　：　宮城県栗原合同庁舎会議室（現地視察：下刈敷地区環境保全活動組織）

去る平成 21 年 7 月 14 日(火) に東北農政局と栗原管内の8活動組織による、現地視察及び意見交換会が、宮城県栗原合同庁舎会議室で開催されました。

初めに、現地視察として、貸し切りバスで栗原合同庁舎を出発し、栗原市の狩野室長補佐が志波姫地域の植栽活動区域を説明しながら現地に伺いました。

現地では、組織の代表から集落の活動等について説明があった後、カバープランツによる芝桜の植栽状況や子供達と一緒に田んぼにメダカを放流した「メダカスイスイ田」の視察をしました。

現地視察後、栗原合同庁舎で、組織との意見交換会が開催されました。意見交換会では、東北農政局より本対策の取組状況や、耕作放棄地の再生利用等の説明、各組織の代表よる活動事例等の紹介がありました。

意見交換では、次期対策への要望や、事務の簡素化等の要望があり、大村補佐、原子係長、長澤係長が、これらの意見要望を本省に伝え円滑な推進を図りたい旨の応答をしました。

現地視察（志波姫下刈敷）

下刈敷地区環境保全活動組織の構成員よりカバープランツの説明とメダカスイスイ田の説明がありました。
※活動の特色を活かし、地域独自のブランド米を生産する目標を掲げ意欲的に活動を行っておりました。

意見交換会（栗原合同庁舎）

栗原合同庁舎会議室で、意見交換が行われ、組織から様々な意見や要望が出され、東北農政局大村補佐、原子係長、長澤係長が応答しました。

活動組織の皆様並びに市担当者の皆さんご協力ありがとうございました。

事務局一同

生き物調査

第1回生き物調査研修（トンボの抜け殻調査）

日　時　：　平成 21 年 6 月 18 日（木）～19 日(金)
内　容　：　各集落における水田でのアカトンボ（ヤゴの抜け殻）を調査しながら，生き物と環境保全型農業との関わりについて考察する。
場　所　：　大崎市　田尻「大貫公民館」

今回の研修では、講師をNPO法人田んぼの岩渕理事長をお迎えし、活動組織、関係機関合わせて延べ180名の参加により開催しました。研修会では、トンボの種類や生態について講義をいただいた後、ほ場に出てヤゴの抜け殻の調査方法等の指導を受けました。受講者は、説明をメモに取りながら熱心に受講していました。

大貫公民館でトンボの抜け殻採取方法等について講義がありました。

ほ場に出て調査方法を確認しました。

第2回生き物調査研修(アカトンボの抜け殻同定)

日　時　：　平成 21 年 8 月 27 日（木）～28 日(金)
内　容　：　各集落における水田でのアカトンボ（ヤゴの抜け殻）を調査しながら，生き物と環境保全型農業との関わりについて考察する。
場　所　：　大崎市　田尻「沼部公民館」

今回は、第1回の研修（6 月 17 日、18 日開催）に引き続き、講師にNPO法人田んぼの岩渕理事長をお迎えし、活動組織合、関係機関会わせて延べ 149 名の参加により、生き物（アカトンボ）と環境保全型農業との関わりについて研修を開催しました。

第1回研修を受講した活動組織が、各集落の水田において5週間に渡って採取したヤゴの抜け殻を用いて，トンボ種を同定する作業を行った後、その結果と各調査水田の栽培管理方法との関係等について取りまとめ、岩渕理事長からその考察結果について説明をいただきました。

参加者からは、次年度以降も同様の研修を希望する声も聞かれるなど、生き物と環境保全型農業との関わりに対する関心の高さが伺われました。

生き物（アカトンボ）と環境保全型農業との関連について、岩渕理事長より説明いただきました。

農地・水・環境保全

簡易補修研修会

農地・水・環境保全向上対策　農業水利施設簡易補修技術研修会

日　　時：平成 21 年 7 月 24 日（金）
　　一 迫 会 場 ： 9:30～11:30 （参加人数 90 名）
　　志波姫会場 ：13:30～15:30 （参加人数 126 名）
内　　容：簡易補修の適用範囲等を説明、水路の目地詰めの実習
場　　所：　一 迫 会 場 ：一迫総合支所 2 階 201会議室
　　志波姫会場 ：この花さくや姫プラザ 大会議室

今回の研修は、地域協議会事務局が講師となり、農地・水 ・環境保全向上対策を実施する活動組織が自ら水利施設を補修・補強等を行うことが可能な簡易補修等の技術習得をし、受講者が各組織内で指導にあたって頂くことを目的に開催しました。

既に簡易補修を実施している組織の方、初めて資材を手にする方もいる中、室内で簡易補修の適用範囲等を説明した後、午前中は室外で実際に目地詰めの作業をしていただきましたが、午後はあいにくの雨ということで室内で、簡易補修状況を詳しく説明した市販のDVDを見ていただきました。

今回の研修により、組織内の初心者の方に指導をしていただきたい旨を説明し、無事終了しました。

一迫会場

志波姫会場

志波姫会場では、あいにくの雨のため、室内での講習のみとなり、DVDを見ていただいた。

一迫会場では、室内の講習の後、実際に屋外で資材を使って実習した。

多大なご協力を頂いた、栗原市の担当職員並びに真坂土地改良区、迫川上流土地改良区の職員の皆様大変ありがとうございました。

事務局一同

県民交流ツアー

第１回 県民交流ツアー

日　時　：　平成 21 年 8 月 4 日（火曜日）
内　容　：　県民と活動組織との交流を目的としたツアーを開催
場　所　：　角田市高倉（西根下高倉地域資源保全隊）

地域協議会と宮城県では、県民と活動組織との交流を通じて本対策の県民理解の促進を図ることを目的に、県民交流ツアーを開催しました。

当日は、県庁を出発し、角田市の高倉集落到着後、西根下高倉地域資源保全隊の太田　巌氏から、活動成果等について分かりやすく説明していただいた後、生き物調査を行いました。参加した子供達は、保全隊の地元の子供達と一緒に魚やザリガニなどの、水辺の生き物を元気に調査しました。

その後、保全隊の方々が４００ｍにわたりカンナとセンニチコウを植栽した景観を視察しましたが、参加者は、その美しさに目を奪われていました。さらに、組織のご厚意によりセンニチコウをプレゼントしていただきました。

その後、仙南シンケンファクトリーにて地元角田産の美味しいお米と野菜を中心にした特別メニューで昼食を採った後、場所をセミナールームに移し、活動組織による活動説明と意見交換を行いました。意見交換では、安全な食料を生産するために日頃から活動組織が行っている活動や農村地域の豊かさについて話し合われました。

その後、角田市内の農産物直売所に立ち寄り、地域で生産された新鮮な野菜やお米等を購入しました。

今回のツアーに参加したお子さんからは、「生き物調査が楽しかった」「お花が綺麗だった」との感想を頂き、また、大人の参加者の方からは、「もっと本対策を県民にＰＲすべき」など、多数の意見をいただきました。

今回ご案内していただいた組織構成員の方は、今後とも子供達の笑顔を見れるような活動を続けて行きたいと話していました。

子供達は濡れることを気にせず、元気に生き物調査を行いました。

消費者と活動組織との意見交換会

産直「あぐりっと」で新鮮な野菜を買っていただきました。

植栽箇所では、カンナとセンニチコウを見ていただき、組織から参加者へお花をプレゼントしていただきました。

参加者の皆様大変お疲れ様でした。
また、活動組織、角田市担当職員の皆様ご協力誠にありがとうございました。

通 常 総 会

日　時　：　平成 21 年 8 月 25 日（火曜日）
場　所　：　宮城県庁 11 階　1107 会議室

この度、宮城県庁 11 階 1107 会議室において、平成 21 年度通常総会を開催しました。
今回は、油井 角田市産業建設部長に議長をお願いし、４議案について審議した結果、全ての議案が満場一致で承認可決されました。

第1号議案　平成20年度事業報告について
第2号議案　平成20年度収支決算について
第3号議案　平成20年度財産目録について
第4号議案　平成21年度収支補正予算について

【 総 会 風 景 】

【事務局より説明】

【千葉 地域協議会会長】
（宮城県農林水産部長）
（開会挨拶）

【油井 議長】
（角田市産業建設部長）
（議事進行）

【高橋 地域協議会副会長】
（大崎市産業経済部長）
（閉会挨拶）

菜の花プロジェクト（角田市）

（枝野４区・６区・７区・８区資源保全隊）

菜の花プロジェクトとは、全国的に約１３０地域において実践しており、地域にある資源を地域で利用する、資源循環サイクルづくりを目指す事を目的としています。

角田市の枝野地域では近年、遊休農地が見られるようになったため、景観の復元が地区の課題となっていました。

そこで、本対策が始動する以前より地域で菜の花を栽培し、農地の復元や、地元小学生及び住民を対象に菜種油の資源循環についての啓蒙を目的に「菜の花プロジェクト」を発足しました。具体的には休耕田や転作田を活用して菜の花を栽培し、観光利用や養蜂などに利用されながら、刈り取られたナタネは搾油され、遺伝子組み換えのない安全、安心なナタネ油として家庭や学校給食に利用されます。

菜種油の天ぷら試食会

搾油の時に生まれる油かすは飼料や肥料として有効活用されます。また、使用済みの食用油は、地域住民の協力により、家庭や学校から回収し、石けんや※ＢＤＦ等にリサイクルされ、再び地域で有効に活用されます。

※ＢＤＦ（Bio Diesel Fuel ：ﾊﾞｲｵ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･ﾌｨｰｴﾙ）

このように、ムダ（ゴミ）になるものをできるだけ少なくし、知恵と力で、資源として地域の中で連鎖させ、生かして使うことで、循環型社会が現実のものに近づいてきます。

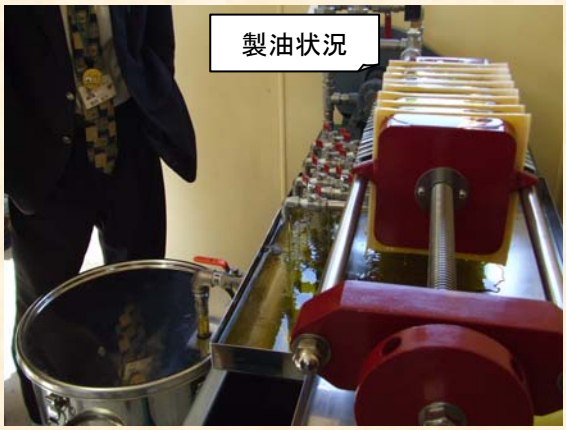
播種体験

地域の資源を適正に活用して、自然と人間活動のバランスを再生する。それが、「地域自律の資源循環サイクル」です。

現在では、活動組織が主体となり活動区域に景観形成として菜の花を栽培し、地元小学生及び住民による収穫体験や播種体験、各種イベントを開催すると共に宮城大学の協力を得てバイオ燃料等の学習会を行っています。

今後も活動組織では、菜の花栽培の作業を行っている担い手への支援や地域と一体となった使用済み食用油の回収等、環境保全や食育教育の啓発活動を行っていく予定です。

収穫体験


製油状況

行事開催予定

21 年度今後の予定

○第２回　県民交流ツアー　11 月 8 日（日）

○福島県地域協議会主催　農地・水・環境保全向上対策事例発表会　12 月 6 日(日)

○シンポジウム(仙台市内)　1 月 16 日（日）

会場：イズミティー21　大ホール

環境保全技術の紹介について

農村と生き物の関わりについて

基調講演

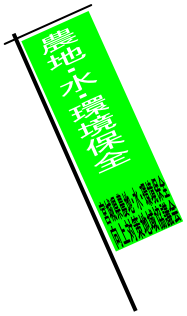
宮城県 農地･水･環境保全向上対策地域協議会のホームページをご覧下さい！

アドレスは http://www.nmk-miyagi.org
です。「宮城県　農地･水･環境保全」で検索していただいてもご覧になれます。

※研修会などの資料等もダウンロードできます。

編集後記

日頃大変ご苦労様です。体制整備構想(案)の作成はお進みでしょうか？
地域、集落の未来像を皆さんに考えていただく良い機会だと思います。
集落の子供達に元気で美しい農村環境をバトンタッチするために、私達大人が今出来ること、続けていきたいことなどの思いを皆さんで出し合って、体制整備構想(案)を作成していただきたいと思います。
本協議会も皆様の活動等を応援していきます。



【問い合わせ先】

宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局

〒980-0011　仙台市青葉区上杉二丁目 2 番 8 号
TEL:022-263-5829
FAX:022-263-5796

ホームページ　：　http://www.nmk-miyagi.org
ｅ－ｍａｉｌ　：　info@nmk-miyagi.org